

民間事業者への追加意向調査結果

1. 実施期間	令和2年11月2日（月）～令和2年12月18日（金）
2. ヒアリング対象事業者	18社（マーケットサウンディング参加企業を対象に実施）
3. 追加意向調査で回答があった主な意見	<p><b>&lt;新型コロナウイルスによる影響について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスによる影響はあるものの、全ての投資案件を止めるまでの状況ではなく、当事業への参画意欲は変わっていない</li> <li>・ ホテルマーケットは今後3年程度で回復すると見込んでいる</li> <li>・ 5～6年先の開業までには市況の回復が予想されるが、不確定要素が多く、新規の投資計画は慎重に判断する必要がある</li> <li>・ ホテルや商業の出店意欲は景気動向によるところが大きい</li> </ul>
	<p><b>&lt;公募時期について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早期の公募開始であっても検討は可能である</li> <li>・ 特にホテル運営事業者は積極的な出店意欲があり、早期の公募開始であっても問題ない</li> <li>・ 市況が回復傾向になってからの公募開始となると、検討の優先順位が下がる可能性もある</li> <li>・ ワクチン開発や五輪開催の動向などが投資判断材料となるだろう</li> <li>・ 数年先の事業なのでコロナの直接の影響はないと思われるが、投資判断するには難しいタイミングであると思われる</li> </ul>
	<p><b>&lt;ウィズコロナ、アフターコロナ社会において新たに配慮が必要な事項&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外気導入、換気設備の充実などによる十分な換気量の確保が必要</li> <li>・ 非接触型設備・機器等の充実が必要</li> <li>・ ソーシャルディスタンス、密にならない空間、オープンな空間の確保が必要</li> <li>・ アフターコロナ社会においては建物の規模、設備に大きく影響を与えるような配慮はそこまで想定されないだろう</li> </ul>
	<p><b>&lt;施設配置・建物形状について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共機能と民間機能を一棟にするか分棟にするかは、工事費やそれぞれのメリットデメリット等を整理した上で要検討</li> <li>・ 免震構造や制振構造を採用することが望ましいと考えているが、一般的にコストアップ要因となるため要検討</li> <li>・ 神戸のまちづくりを牽引する周辺波及効果の高い建物とするために、更なる容積緩和が必要であると考え</li> </ul>